

事業所名

にちにちそう

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

5 月

15 日

法人（事業所）理念		子どもが、親が、地域で生きる喜びを実感できる社会の実現を目指す										
支援方針		・医療的ケアと日常生活支援の両立を実現します。 ・子ども一人一人に合ったリハビリ、発達支援を行います。										
サービス提供時間		10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	「生命の安定」と「生活の豊かさ」を両立する支援を行います。生活リズム・身体の快・不快・休息・栄養・清潔など、基本的な生活行動を心身に負担のない形で一つひとつ丁寧に支援し、児童の安心できる生活の土台を育みます。										
	運動・感覚	リラクゼーションの促しや姿勢保持、筋力の維持強化を図ります。日常生活に必要な基本的技能の向上のための支援を行います（個別4/月）。視覚・聴覚・触覚にはたらかける個別的レクリエーション活動の実施にて感覚入力を促します。										
	認知・行動	五感による刺激の理解・気づき・選択・応答の経験を重ねることで、「認知の芽生え」や「行動の意図」を育むことを目的とします。児童が環境との相互作用を楽しみ、選択する力・意欲・理解する力を少しずつ獲得できるよう、生活や遊びの中に「認知」と「行動のきっかけ」を意図的に埋め込んだ支援を行います。										
	言語 コミュニケーション	表情の変化を読み取り言語化することで表出の機会を増やしていきます。個々の言語・コミュニケーション能力、随意的に動かせる身体部位（随意的な上肢操作や視線）など確認し生活の場にて有効にできるコミュニケーション手段をみつけていく関わりの実施を行います。ことばの他、身振りサインなどを用いて意志表出のための支援を行います。										
	人間関係 社会性	家族以外の他者との関わりのなかで社会性の構築を図ります。個別支援だけではなく集団支援を行うことで他児への興味・関心の拡大を図り、自立と社会参加を見据えた支援を行います。										
家族支援		障害を持つ児童や兄弟児に対する困り感に対して、傾聴し相談に応じます。社会資源・地域資源を有効活用し、家族が必要とする情報の提供等といった子育て支援サービスの充実に取り組みます。							移行支援		本児の特性や能力を理解し学校、保育所、幼稚園などと連携し、調整と情報交換を行い、本児が円滑に移行できるよう支援します。	
地域支援・地域連携		感染対策を考慮したうえで、近隣施設との交流を図ります。地域に理解される機会をつくり安心して生活できるよう取り組みます。							職員の質の向上		支援の質を向上させるため、定期的に職員に対し研修（個別支援と計画の作成、コミュニケーション支援、福祉制度、虐待防止と身体拘束、非常災害対策、感染対策等の衛生管理、ペアレントトレーニングなど）を行います。	
主な行事等		・季節の行事（お誕生会、七夕、ハロウィン、クリスマス会など） ・防災訓練（避難訓練、その他避難場所の確認）										